

令和3年度 前期学校評価考察

文責 教頭 清水 ゆみ

はじめに

本校では、これまで長年にわたり【やる気・元気・根気・勇気・思いやり】の「五本の木」が校訓として受け継がれてきている。この校訓を受けて、「学びを深め、豊かな心を持ち、たくましく生きる児童の育成」を学校教育目標に掲げ、学校長をリーダーに全職員が一丸となって児童の育成に携わっている。また、白根東小学校の目指す児童像は、「情報や考えなどを的確に理解し、判断の根拠や理由を明確に示しながら、自分の考えを述べるができる児童」である。この目標を実現するために、教職員一人ひとりが日々の教育活動に取り組んでいる。しかし、それぞれの教職員がいくら一生懸命に頑張ったとしても、目標に向かうベクトルの向きがバラバラでは「学校」として大きな成果は望めない。それはまた、保護者や地域との関係においても同じことが言える。各自の個性やアプローチの仕方は尊重しつつ、チームとして目指す同じゴールに向かっていきたいと考えている。学校評価はそれを検証する貴重な機会であるにとらえ、そこから見えてくる・見つげられる事実としっかり向き合っていく必要がある。

「A」（あてはまる）「B」（どちらかというにあてはまる）を肯定的意見、「C」（どちらかというにあてはまらない）「D」（あてはまらない）を否定的意見ととらえると、自己評価（教職員）はすべての項目について肯定的評価が100%に達している。また、児童アンケートもすべての項目で90%を超えており、全体的にみておおむね満足できる状態であるといえる。ただ、そこから見えてくる課題を見つけ、取組を進めていくことがさらなる高みを目指すためには大変重要なことである。

<自己評価における課題>

① No.4「学校評価・一校一実践・一人一実践・人事評価制度・校内研・各種研修を通し、自分を磨き高めようとしている」と No.7「「関わり合い・高め合う子供たち」（校内研テーマ）を通して、思考力・判断力・表現力及び主体的な学習態度の育成に努めている」の各項目において、A評価が65%・67%、B評価が35%・33%という結果である。

GIGA スクール構想の実現に向けて、一人一台端末利用による新しい学習スタイルがスタートすることになり不安もあるが、ICTを取り入れた授業づくりについては研修を受けながら進めている最中である。また、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染防止対策として3密回避（密集・密接・密閉）のために、ソーシャルディスタンスをとっての机の配置やマスクの着用等継続されたままである。現在もグループ学習やペアトーク等の学習形態に制限が課せられ、対面的な児童相互の関わり合いが実践できない状況下である。今後も感染対策を講じながら、目指す児童像を念頭に置いて、思考力・判断力・表現力及び主体的な学習態度の育成に努めなければならない。新しい生活様式やコンピュータの活用を踏まえ、学校全体で学習スタイルの工夫や方法を考えていくことも新たな課題である。同時に、一人ひとりの教師が授業力をさらに高め、子供たち

が「わかった」「楽しい」と感じられる授業を増やしていくことが、主体的な学習や学習の習慣化にも繋がるのではないかと考える。

- ② No.8「学校がきっかけをつくり、保護者とも連携し、児童の学習習慣が確立するよう努めている」において、昨年度よりもA評価が上がり改善されてきているが、B評価が44%であるため今年度も課題と捉えている。No.6「基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を目指した指導に努めている」(A評価100%)に表れているように、基礎基本の指導を徹底したり宿題や自主勉強などに取り組んだりして、手ごたえは十分感じているようである。しかし、「学習の習慣化」や「連携」となると、個人差があるため依然としてハードルは高いようである。

家庭学習の一層の定着を図るためには、各家庭の協力を得ながら全教職員が継続的に取り組み、「きっかけ」づくりを意識していくことが大切だと考える。家庭学習の内容や取り組み方を提示するとともに、家庭での学習環境づくりについて提示するなどの方法を考えて、取り組みを進めていくようにしたい。

- ③ No.11「児童理解・生徒指導・特別支援の観点に立ち、児童の特性に応じた(組織的な)指導に努めている。」においては、A評価が63%でB評価が37%という結果である。校内委員会での話し合いやSCの活用など、コーディネーターを中心に取組が確実に進められている。しかし、児童の特性に応じた指導では、多様な児童への目標設定が個人により違うことや、特性に応じた指導方法の工夫・改善などの難しさも考えられる。今後も「児童理解」の上に立った授業を充実させることを念頭に置いた授業づくりと、自己肯定感を育む学級集団づくりの両輪で、全職員が一つの方向に向かって同一歩調で進んでいきたい。その際、子供に「自己決定」の場を与えること、子供に「自己存在感」をもたせること、子供と教師が「共感的関係」をつくることを心がけ、一人ひとりの児童に寄り添った指導をより一層努めていかなければならない。

- ④ No.12「保護者・地域との連携・協力を努めている。」のB評価が37%である。今年度も新型コロナウイルス感染防止対策を講じる中で、授業参観や学校開放日の開催が限られ、学校生活の様子を保護者や地域の方々に直接参観していただく機会が減ってしまった。しかし、学校だより、学年・学級通信、ホームページなどを使って情報発信をすることで、学校生活を保護者や地域の方に理解していただいている。

昨今「開かれた学校」ということがクローズアップされ、保護者や地域の方々と連携を深めていくことは大変重要なことであるが、それぞれの立場や持ち場に応じた連携を模索する必要がある。管理職や教務を中心に行われている「安心・安全」に係る連携を継続し、他の分野に関しても連携を模索し、学校全体に広げていきたいと考えている。「地域と共に育つ子供」【共育】を合言葉に連携を強化していきたい。

<児童アンケートにおける課題>

- ① No.1からNo.5では、校訓である「やる気」「元気」「根気」「勇気」「思いやり」について、子供たちが評価するに当たり具体的にイメージしにくいところもあるが、A評価の高い順に「元気」(83%)「思いやり」(79%)「勇気」(76%)「やる気」(75%)「根気」(72%)となっている。例年傾向は同じであるがやはり「元気」が一番イメージしやすいようである。「この場面では〇〇が必要だね。」「〇〇が身についてきたね。」など、具体的に子供たちの学習や活動場面において「五本の木」を意識した評価をしていくことで、「五本の木」をイメージしやすくなるのではないだろうか。また、令和3年度の児童会スローガン「やさしさいっぱい東っ子！大きくかがやけ五本の木」にあるように、児童会活動を通して「五本の木」が大きくなっていくことを期待している。さらに、教職員や保護者や友達同士の評価を通し、自己肯定感・自己有用感を高めていくことも大切なことであると考えます。

- ② No.6「学校が楽しいですか。」のCとD評価の合計が7%となっている。93%の児童が肯定的であるが、全校児童が白根東小学校に行きたくなるような学校づくりを考えていかなければならない。今年度の学校経営の根底にある「学級づくり」の充実が、児童の学校生活に影響している。児童一人ひとりに自分の居場所がある安心して生活できる【学級づくり】と、「できた」「分かった」を実感できる【授業づくり】を両輪にして、充実した学校生活を送れるようにしていきたい。

- ③ No.11「授業中に、手をあげたり自分の考えを言ったりしていますか。」の項目では、昨年度の前期評価よりは向上しているが、A評価は66%で、全項目の中で最も数値が低い。本校の目指す児童像が「情報や考えなどを的確に理解し、判断の根拠や理由を明確に示しながら、自分の考えを述べることができる児童」であるが、全体の場での発言に抵抗を感じている児童も7%いる。友達の考えを受け入れる姿勢や、安心して考えを伝え合える学級づくりをしていくことが課題である。自己評価のNo.7の「関わり合い・高め合う授業」につなげていけるように取り組んでいきたい。しかし、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止対策のために、ペアトークやグループトークなどの発言の場が制限されていたことも考慮しなければならない。

- ④ No.13「学校での様子を、家の人に話していますか。」のA評価は72%でここ数年同じような割合であり、学年や個人によって違いはあるが、学校と保護者との情報共有という点からは気になるところである。No.14「家の人に、学校からの便りなどを渡していますか。」のA評価は82%で、ある程度の情報の共有は行われていると思われるが、家庭内で学校のことを話す機会を意図的に確保できるようにしたい。自己評価No.8「学校がきっかけをつくり、保護者とも連携し、児童の学習習慣が確立するよう努めている。」の関連からも、意図的に「きっかけ」づくりを試み

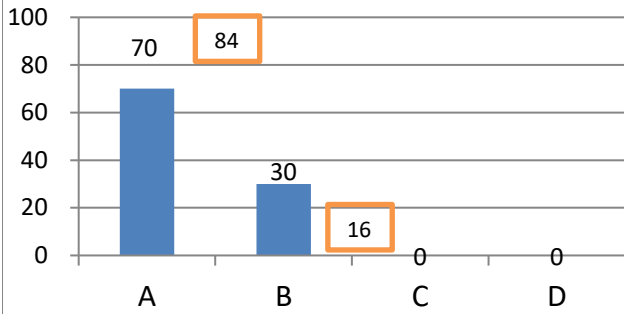
ていく必要があると感じている。家庭学習の中に「親子の会話」のきっかけづくりを学校が積極的に仕組んでいく必要がある。情報不足による「知らない」ということから様々な不安や心配事が発生しがちであるため、保護者や地域との連携に心して取り組んでいきたい。

- ⑤ No.16「自分のケータイまたはスマホを持っていますか。」は、全校で「持っている」が44%になり毎年上昇傾向にあり、高学年になるにつれて所有率も高くなってきている。No.17では、持っている児童に対して「ケータイまたはスマホを使う時の家のルールはありますか。」では、「ある」という回答が78%で「ない」が22%となっている。近年、SNS上のトラブルや事件が多くなってきていることが懸念される。1学期には、5・6年生の子供たちに対して山梨県生涯学習課主催による「ほっとネットセミナー」を開催した。また、全校保護者にも呼びかけ、約80名の方が参加された。今後、学校からコンピュータを持ち帰るにあたってのルールも参考にいただき、ケータイやスマホにおいても保護者の管理下に置いて、ルールを決めて児童に持たせることをお願いしていく必要がある。

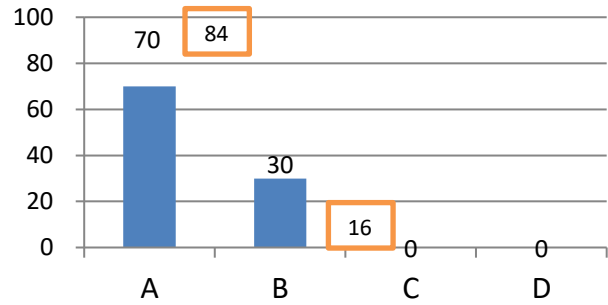
令和3年度 教師の評価集計(前期)

□ は前年度前期の%を示す

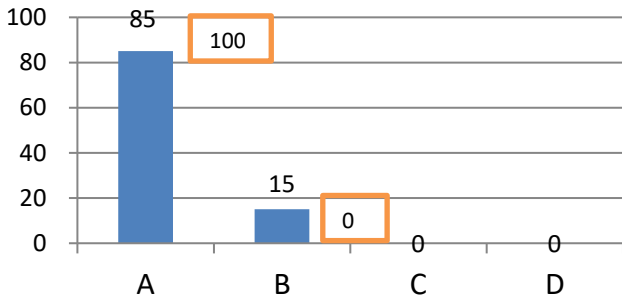
1 校学校教育目標・目指す児童像・校訓を意識して、教育活動を進めている。



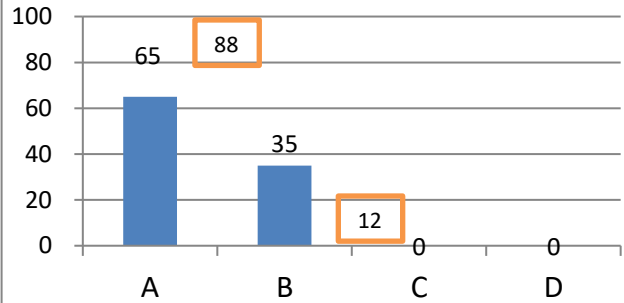
2 マネジメントサイクル(PDCA)で、よりよいものに改善を図ろうとしている。



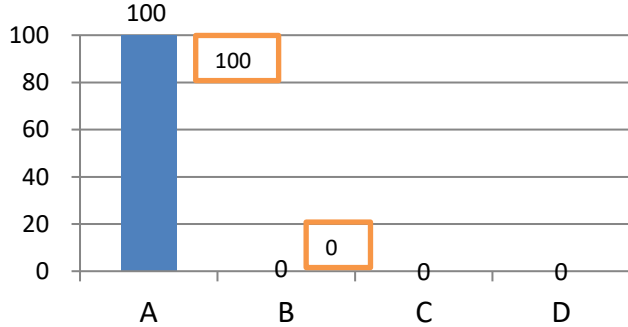
3 他の教職員と連絡調整・コミュニケーションを図りながら(組織的・協働的に)教育活動にあたっている。



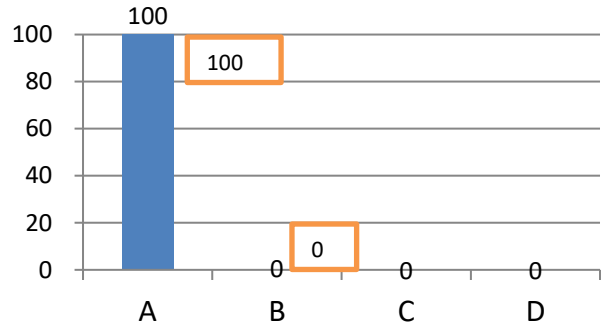
4 学校評価・一校一実践一人一実践・人事評価制度・校内研・各種研修を通し、自分を磨き専門性を高めようとしている。



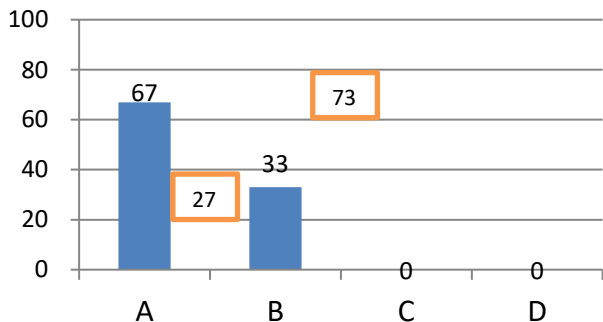
5 危機管理(事故・加害行為・災害・個人情報・網紀保持等)を意識し、教育活動等にあたっている。



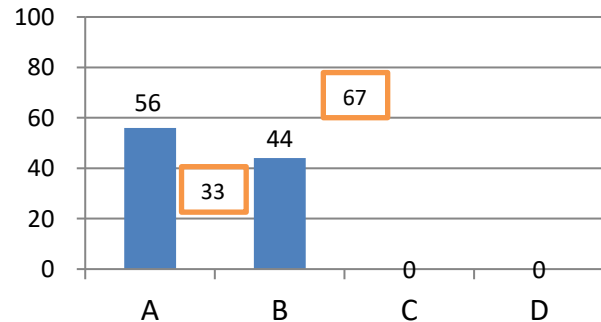
6 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を目指した指導に努めている。



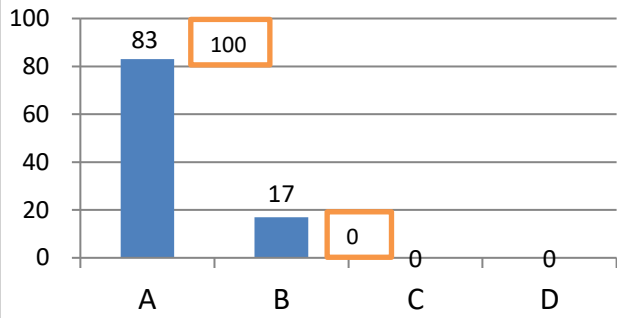
7 「関わりあい高めあう」授業(校内研テーマ)を通して、思考力・判断力・表現力及び主体的な学習態度の育成に努めている。



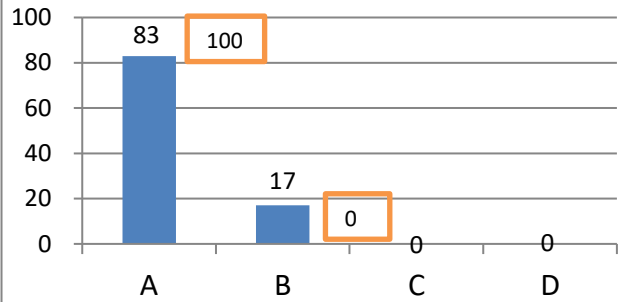
8 学校が「きっかけ」をつくり、保護者とも連携し、児童の学習習慣が確立するよう努めている。



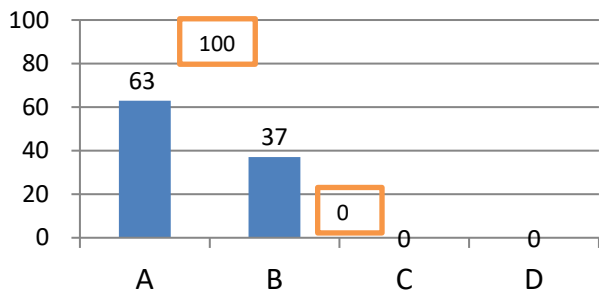
9 児童理解に基づき、ルールとリレーションのある学級・学校づくりに努めている。



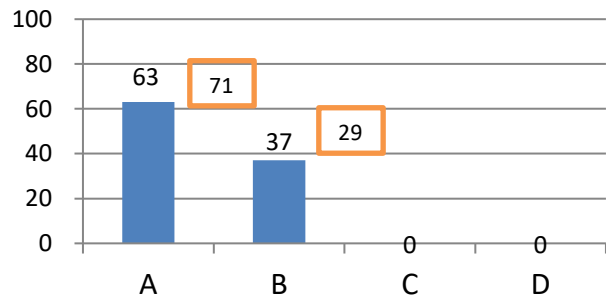
10 いじめ・不登校・問題行動の未然防止に努めるとともに、万が一の場合は、見逃さず対処している。



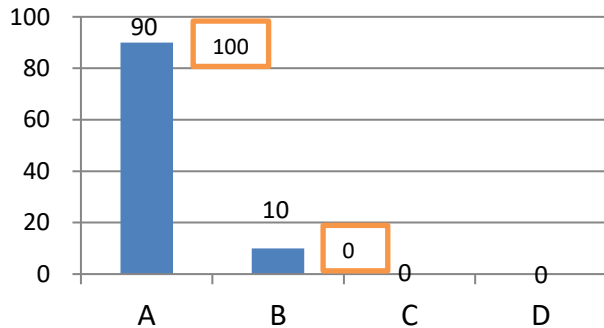
11 児童理解・生徒指導・特別支援の観点に立ち、児童特性に応じた(組織的な)指導に努めている。



12 保護者・地域(及び関係機関)との連携・協力を努めている。

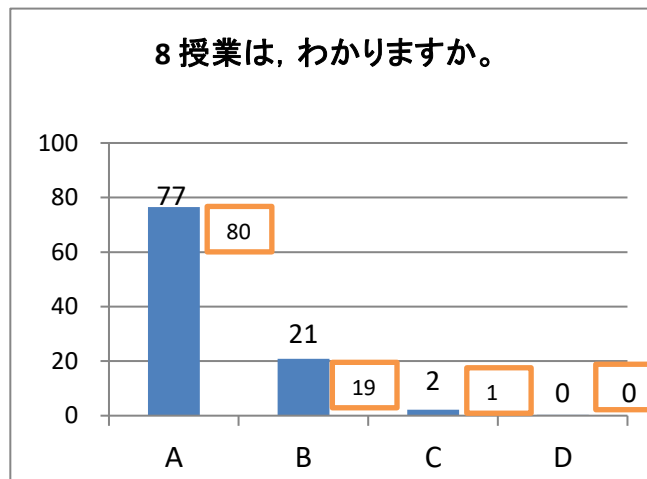
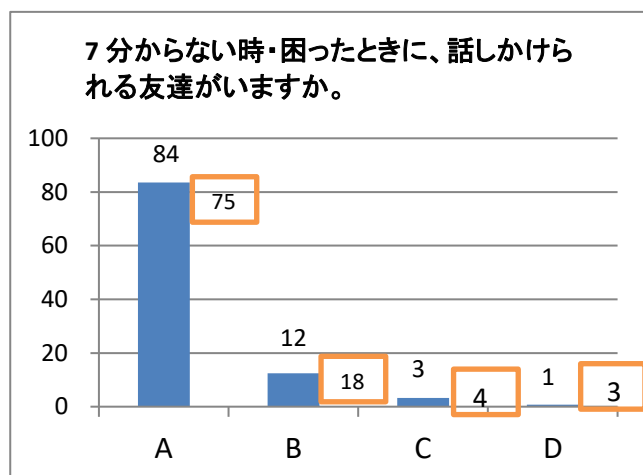
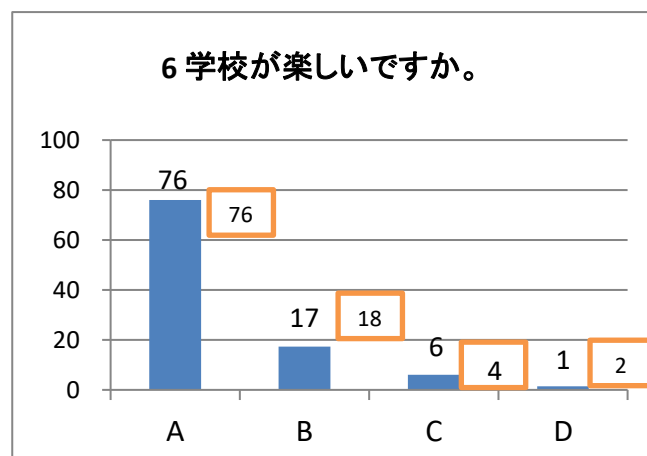
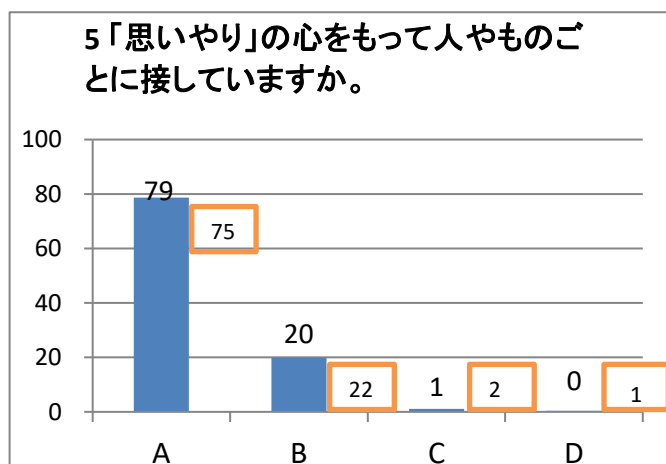
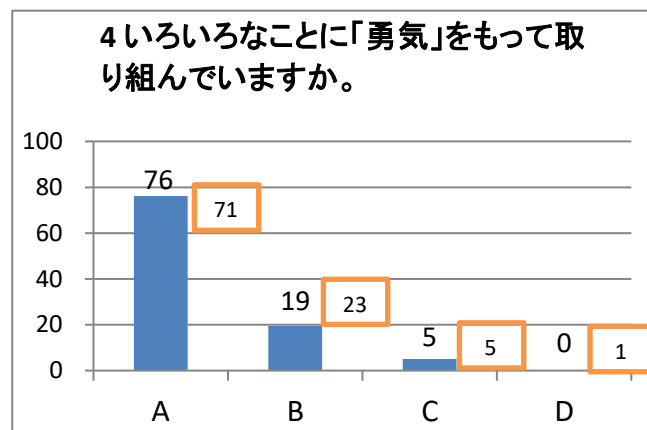
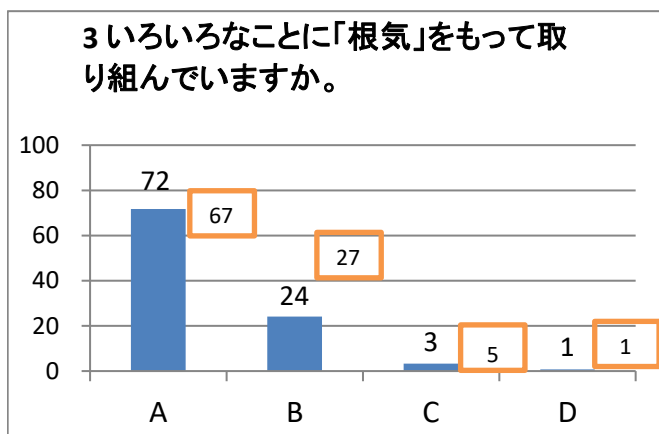
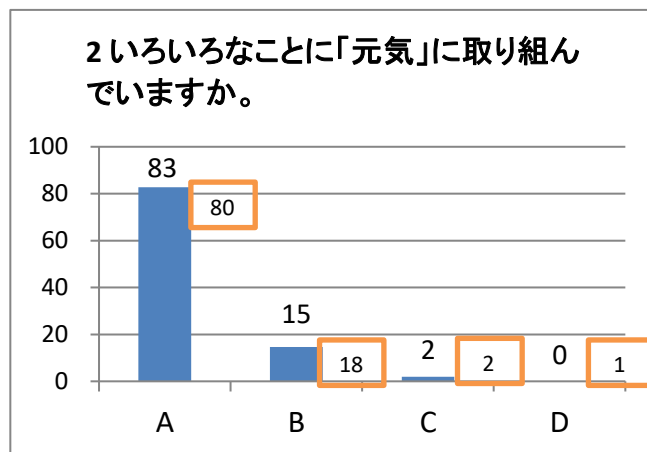
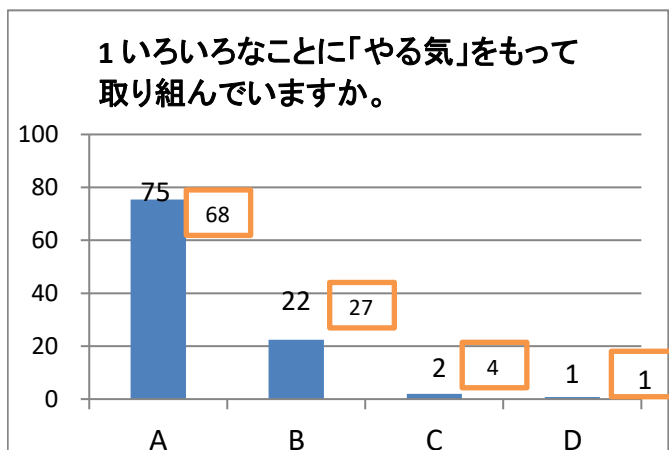


13 白根東小はいい学校だと思いますか。

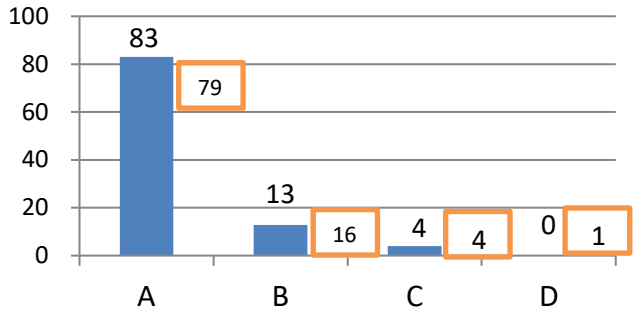


令和3年度 児童アンケート集計(前期)

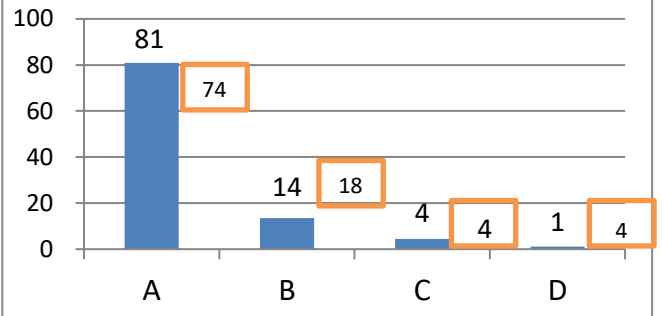
□ は前年度前期の%を示す



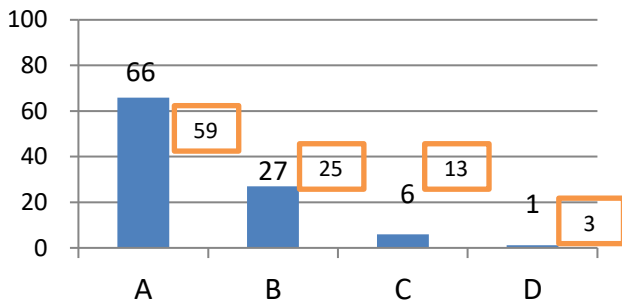
9 分らない時・困ったときに、話し
かけられる先生がいますか。



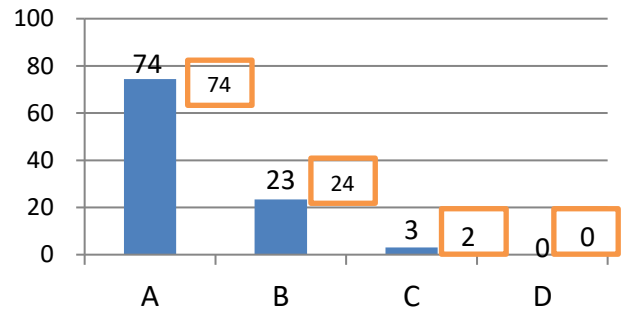
10 授業(勉強)でわからない時には、
先生に聞いていますか。



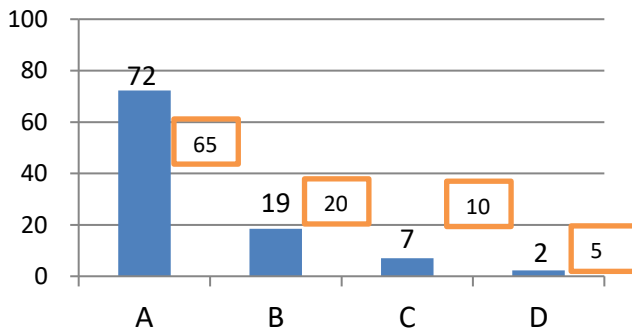
11 授業中に、手をあげたり自分の考
えを言ったりしていますか。



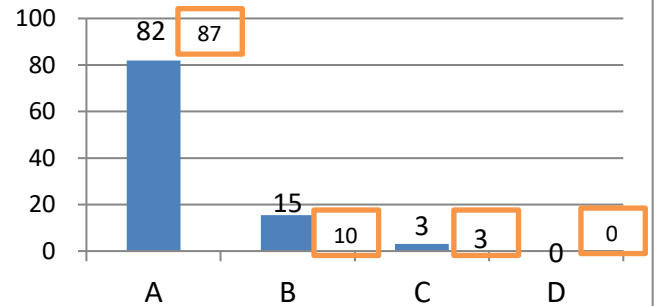
12 学校のきまりや約束事を守ってい
ますか。



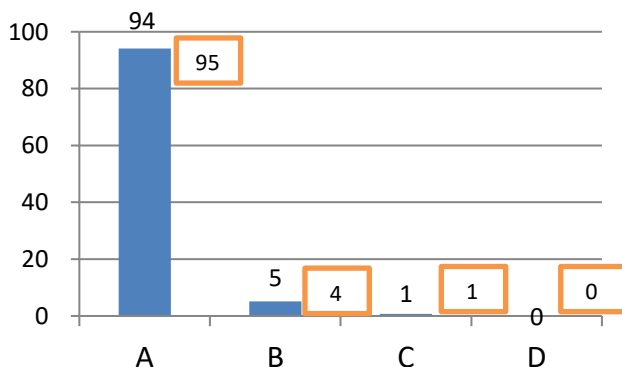
13 学校での様子を、家の人に話して
いますか。



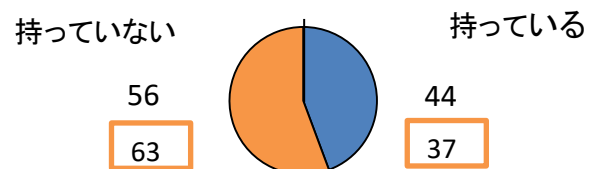
14 家の人に、学校からのたよりなど
を渡していますか。



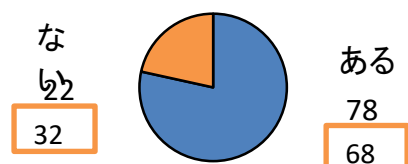
15 朝ごはんを食べて登校していますか。



16 自分のケータイまたはスマホを
持っていますか。



17 持っている人だけ→ケータイまた
はスマホを使う時の家のルールはあ
りますか。



学校で一番楽しみなこと（前期児童アンケートから）

*数字は回答人数（複数回答者あり）

【1年生】

- ・体育9
- ・音楽8
- ・図工5
- ・パソコン4
- ・休み時間3
- ・生活2
- ・掃除2
- ・国語1
- ・算数1
- ・図書1
- ・帰りの会1
- ・運動会1

【2年生】

- ・休み時間10
- ・図工6
- ・パソコン5
- ・体育4
- ・音楽3
- ・友達と遊具で遊ぶ3
- ・理科2
- ・算数2
- ・折り紙2
- ・おにごっこ2
- ・友達と話す1
- ・かけ算1
- ・生活1
- ・サッカー1
- ・お絵描き1

【3年生】

- ・友達と遊ぶ10
- ・みんなで勉強6
- ・体育5
- ・友達とおしゃべり4
- ・算数4
- ・図書3
- ・中休み3
- ・おにごっこ2
- ・鉄棒2
- ・給食2
- ・理科の実験2
- ・漢字2
- ・パソコン1
- ・工作1
- ・読書1
- ・国語1
- ・総合1
- ・図工1
- ・習字1
- ・音楽1
- ・友達と下校1
- ・リコーダー1
- ・南アルプス市の勉強1

【4年生】

- ・お誕生日会19
- ・レク14
- ・休み時間13
- ・体育13
- ・キャッチバレー11
- ・会社11
- ・図工6
- ・友達と遊ぶ4
- ・給食3
- ・図書3
- ・授業2
- ・本読み2
- ・鉄棒2
- ・友達に会える2
- ・みんなに会える2
- ・お絵描き2
- ・勉強1
- ・国語1
- ・算数1
- ・理科1
- ・みんなで遊ぶ1
- ・みんなで話す1
- ・運動会1
- ・折り紙1
- ・パソコン1
- ・日直1
- ・1人で本を読む1

【5年生】

- ・休み時間11
- ・林間学校8
- ・友達と遊ぶ8
- ・友達としゃべる8
- ・夏休み6
- ・体育4
- ・友達に会う3
- ・修学旅行2
- ・みんなで話し合う2
- ・図工2
- ・給食2
- ・協力して問題を解く1
- ・自分が理解していないことを学ぶ1
- ・友達と勉強すること1
- ・委員会の仕事をする1
- ・先生と休み時間に話をする1
- ・社会1
- ・算数1
- ・図書1
- ・読書1

【6年生】

- ・友達と話す11
- ・休み時間11
- ・給食7
- ・友達と遊ぶこと6
- ・体育5
- ・修学旅行5
- ・友達や先生に会うこと4
- ・読書4
- ・社会科見学3
- ・帰り2
- ・運動会2
- ・勉強1
- ・図工1
- ・理科
- ・児童会の仕事をするとき1
- ・英語1

*子供たちが学校で楽しみにしていることは、個人によって様々であるが、友達と関わる活動や時間を挙げている人数が多い。子供たちにとって、学校が安心・安全に生活できる場である環境づくり（ソフト面・ハード面）に努めていくことが重要である。